

Ai愛勞連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町 9-7
労働会館東館 3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://wwwairoren.gr.jp>

■と き 12月6日（日）
9時30分開場 10時開会
■ところ 労働会館東館2階ホール
名鉄・JR「金山」駅下車徒歩10分
※お弁当無料（要・事前申し込み）

**戦争させない
給与をあげる**

職場で学び、語り合おう

競争法廃止・大幅値上げの職場1万人学習会



戦争法廃止！ 「2千万署名」を広げよう

平和のうちに生存する権利を

最低生計費調查

で大幅賃上げの要求を！



1500名の「戦争法強行採決NO！」の声が響いた(11/30、名古屋)

職場を基礎に
地域でつながろう

愛労連は、秋から来春闘の中心的活動について2つのこと呼びかけます。

「日本」という国的情形（あり方）をめぐる歴史的な攻防は、「安保法」（戦争法）が国会で強行採決された以降もやむことはありません。明文改憲への野望を隠さない安倍政権の「暴走」をこれ以上許さず、「安保法」（戦争法）の廃止に向けて奮闘すること。そして、マイナス成長が繰り返される日本経済を土台から

立て直すには、個人消費の6割を占める労働者の賃金を大幅に引き上げることが不可欠であり、労働者の賃金と労働条件の改善を本気でめざすことです。

の給料は、これだけ必要なんだ。これだけ賃上げしてほしい」とたたかいの正性を訴えていきます。

その中で、憲法を守り活かし、「戦争法廃止・安倍政権NO!」の意思統一を深めます。愛労連では、「職場1万人大学習」のための学習資料（問答集等）を作成します。昼休みや休憩などを活用した短時間学習ができるよう各単産・地域で工夫しましょう。

こうむ 食欲の秋。自分で作ったものを食べるという充実感に満ちた1年だった▼畑は、バスと電車を使い、時間の中腹にある。昨年11月にタマネギの苗を植え、今年6月に収穫した。拳骨よりも大きなもの、小さいものがあり、素人だなあと苦笑する。収穫してすぐスライスにして、マヨネーズにつけ食べたら辛味はなく、最高のシャリシャリ歯ごたえを味わった。友人にプレゼントしたら、「こんなに美味しいタマネギは食べたことがない。売りに出しても絶対

私たちだけあきらめない

12.19安倍内閣の暴走を止めよう集会&デモ
■とき 12月19日(土) 17時から
■ところ 名古屋・栄「ひかりの広場」
主催 催
安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会
※共同行動実行委員会は2016年6月まで毎月
19日に毎回集会を実行してきました

を大きく変える」ことがあります。2000万の署名を積み上げれば、「『声なき声』は『安保法を支持している』どうそごく安倍首相を追い込むことができます。

満ちた1年だった▼畠は、バスと電車を使い、時間の山の中腹にある。昨年11月にタマネギの苗を植え、今年6月に収穫した。拳骨よりも大きなもの、小さいものがあり、素人だなあと苦笑する。収穫してすぐライスにして、マヨネーズにつけ食べたら辛味はない、最高のシャリシャリ。歯ごたえを味わった。友人にプレゼントしたら、「こんなに美味しいタマネギは食べたことがない。売りに出しても絶対いける」なんて、気分が高揚するお褒めの言葉をいただいた▼9月12日には、大根とカブの種を蒔いた。夢にも出てくる芽生した畝(うね)の光景。1か月後、待ちに待った畑作業日、緑の苗が生き生きと土から伸びている。しばらく佇んで、その光景を眺める幸せ感。間引きをして摘んだ苗を味噌汁にいれたら、新鮮な葉っぱの匂いが鼻をくすぐった▼10月下旬には、ピンポン玉の大きさになつたカブを塩もみで試食。柔らかく甘い、さつきまで土の栄養を吸収した野菜の本当の味を知った。鍬でおこし、日光に当て、枯葉で作った腐葉土を加えた手作りの土も苦労はあつたが、土から始める野菜作りの醍醐味もある。「自給足」という楽しみがしばらく続きそうだ。(ヒロ・スロー・ライフ)

2015年
秋季年末闘争

公務・民間労働者とともに力があわせて賃上げを

11.4全県労働者決起集会

秋季年末闘争が各地でとりくまれている11月4日、愛労連や愛知公務共闘がよびかけ、「すべての労働者の賃上げ、労働法制改悪阻止、戦争法廃止、公務・公共サービス拡充、国民諸要求実現」などを掲げた全県労働者決起集会が開催されました。

冒頭、鈴木一愛労連議長の主催者あいさつ後、連帯あいさつとして社会保障推進協議会事務局長の小松

家庭の厳しい状況を訴え、

若者が希望を持つる社



民子さんから、「安倍政権への怒りを行動へ。戦争体制と社会保障体制の充実は相いれない。賃上げを実現し、社会保障の拡充・充実をめざすたたかいを」と激励されました。

続いて自治労連愛知県部の林達也書記長から、「公務員は給与制度の総合的見直しがおこなわれ全国的に賃金水準が下げられており、大手企業は2年連続の賃上げ」というが、多くの中小企業の労働者へ賃上げを基礎に、仲間を増やしてはいき渡っていない。職場を協力・共同をひろげ、要求実現をめざして攻撃的にたたかい抜こう」と行動提起がありました。

があり、その後、公務・民間労働者を代表し、2人から決意表明がおこなわれました。

集会の最後には参加者全體で決議文を確認。栄の街を歩く人たちに向けて「賃金・一時金を引き上げよう」「戦争法廃止」などアピールしながらデモ行進をおこないました。

OPINION オピニオン

この間の外遊でも軍需産業関係者が100人以上同行し、ミサイルや潜水艦の商談を成立させた。報道はされていないが、この間の外遊で改定は放つたらかしだ。

いつまでも

守山自衛隊

のステダン派遣も決まりた。挙げ句の果て総務省

をおし進め、

立憲主義

を取りそ

う

た。

</



春日井まつりで署名宣伝行動をおこない、尾中労連や民主団体から42人が参加。教育署名など1084筆を集めました。



福祉予算削るな愛知県民集会がおこなわれ福祉・保育・医療関係者など1000人集まり「軍事費より福祉に」と訴え



社保庁不当解雇撤回闘争支援共闘が第6回総会。裁判でよいよ証人尋問が始まることから、支援の強化を確認



社会保障の改善を求める県下の自治体をまわる秋の自治体キャラバンで名古屋市交渉に社保協や労組の代表が参加

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文書でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。

詳しくは…

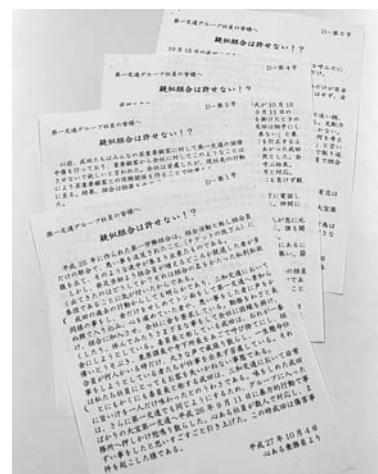
TEL 052-871-5433（龍尾）まで
E-mail post@airoren.gr.jp

10/17・18

10/25

10/27

11/5



社内では、10月から会社が配布場所を提供して組合や委員長を誹謗中傷するビラがまかれている

第一交通は、全国に展開するタクシーグループで156社、従業員数は1万500人の業界最大手です。現在はタクシーのほか不動産や金融、介護事業まで展開していますが、もともとは北九州のタクシードラムでした。

その過程では、数々の労働組合つぶしや労働者いじめ

社会でした。当時の黒土始社長（現会長）が1980年代から全国各地のタクシーハイウェイを買収や吸収合併して、一代で急成長しました。

2013年6月に県下の2社4営業所で働く仲間で第一交通労働組合を結成しました。

2013年6月に県下の2社4

愛労連
パート・臨時
労組連絡会

長時間労働の是正など、正規・非正規の分断を乗り越えたたかいくを

11月8日、愛労連パート・臨時労組連絡会が主催する「第19回パート・臨時労組連絡会」が開催され、50人が労働会館に集まりました。

今年は「学んで元気に非常勤などの元気の出る集会」をテーマに分科会と全体会で3つの学習会がおこなわれました。質問が相次いだのは「短時間労働者の社会保険適用拡大」の問題。来年の10月に導入予定であり、「どっちがお得パート労働者の年金」と題した分科会では、「ダブルワークしている場合はどうなるか」

話しをする非正規センター事務局長の大西さん

がおこなわれました。

「労働者派遣法」で非正規労働者の働き方がどう変わったのかをテーマに全労連非正規センター事務局長の大西玲子さんから話を聞きました。

正規センター事務局長の大西玲子さんから話を聞きました。

正規労働者が立ちはだかりました。

西玲子さんから話を聞きました。

正規労働者支援が運動を支

持つべきであることを知るきっかけになりました。(小島啓

義・名水労)

■若い頃よく口にした言葉

「実践の哲学」。お任せ民

主義でなく、自ら声をあ

げ連帯して行動するとき。

闘いに終わりはない。(荒

木平・愛教労)

■4年ぶりに市民課の職場

へ復帰しました。マイナン

バー制度の準備や戦没者慰

靈金の対応など日々が忙

しさです。しかし、業務後

は組合の役員として気持ち

を切り替えています。これ

が新しい職員を支えくれ

ています。労働組合があり

り労使協議会で定期的に

話し合いながらつくって

きた環境があればこそだ

そうです。

最近では男性職員の育児休暇を提案しています。

近年、男性保育士が増え、特に20代、30代の子育て世代が安心して働く環境をつくろうとしているそうです。

最後に地域での活動について聞いてみると「地域で集う難しさを感じています。その上で地域での活動に価値を見いだし

て活動していく」と語ってくれました。

現在、職場では定年後

に継続雇用で残った職員

が新人を支えて

ベテランが新人を支

えて

が弟に関わる内に子ども

が好きになり、今では2

が弟に関わる内に子ども

が好きになりました。

少年時代は子ども

園で働いています。14才

の時に弟が生まれたこと

を契機に保育士をめざし

ました。少年時代は子ども

が嫌いだったそうですが

が弟に関わる内に子ども

が好きになりました。

が好きになりました。</p